田中尚人（熊本大学 熊本創生推進機構 准教授）

「菊池川流域における日本遺産を核としたかわまちづくり文化の再興」

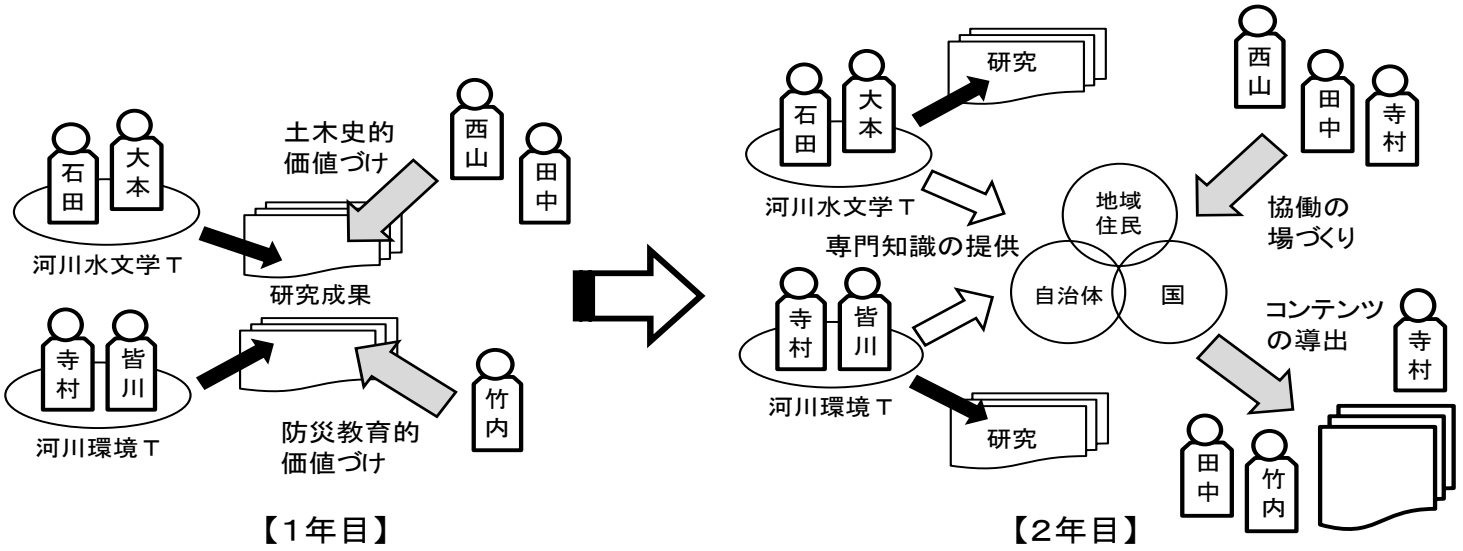
近年，地球温暖化や異常気象，過度な環境改変により，集中豪雨や台風などにより流域の安全が脅かされている．また地方都市は，少子高齢化，高齢社会を迎え，過疎化，人口流出などから，創造的な働き方や安心できる子育て環境，終の棲家として選ばれる地域の魅力が必要とされている．このような背景から，流域において都市や地域が抱える課題として，多様な主体の協働による，高齢社会下での安心・安全で地方創生に資する，川づくりとまちづくりを一緒に考える「かわまちづくり」の重要性が導出される．

かわまちづくり支援制度

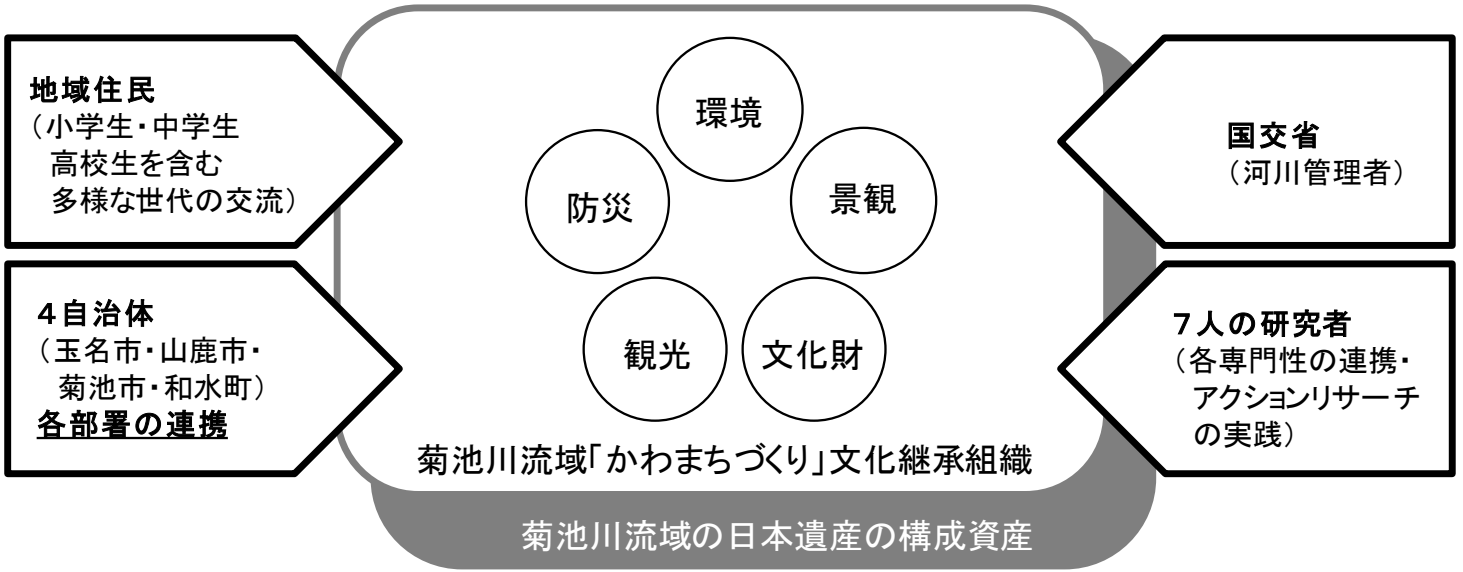
KAWAMACHIDUKURI APPROACH

http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/

調査・研究の計画及び実施手法の概要



【３年目】



菊池川流域全体で「かわまちづくり」の文化を継承していく組織を立ち上げ，日本遺産の持続可能な保全・活用を担うシステム構築，人材育成，地域学習プログラムの自律的更新を目指す．

菊池川流域には、二千年にわたる米作りによる大地の記憶が残っている。平地には古代から受け継がれた条里、山間には高地での米作りを可能にした井手いで（用水路）と棚田、そして海辺には広大な耕作地を生み出した干拓。米作りを支えた先人たちによる土地利用の広がりが、今も姿を留め、その全てをコンパクトに見ることができる。更に賑やかな祭りや豊かな食という無形の文化も息づくなど、菊池川流域は古代から現代までの日本の米作り文化の縮図であり、その文化的景観や米作りがもたらした芸能・食文化に出会える稀有な場所なのである。

菊池川流域日本遺産

https://www.kikuchigawa.jp/

菊池川流域の地域資源

①玉名の干拓事業の価値
②加藤清正遺構
③河川舟運遺構
④地域と川とのつながり（漁・文化）
⑤豊かな淡水魚の生息環境
⑥重要なハビタット（生物の生息空間）
⑦水辺景観

菊池川流域の社会的状況

（https://www.kikuchigawa.jp/cultural_properties/）

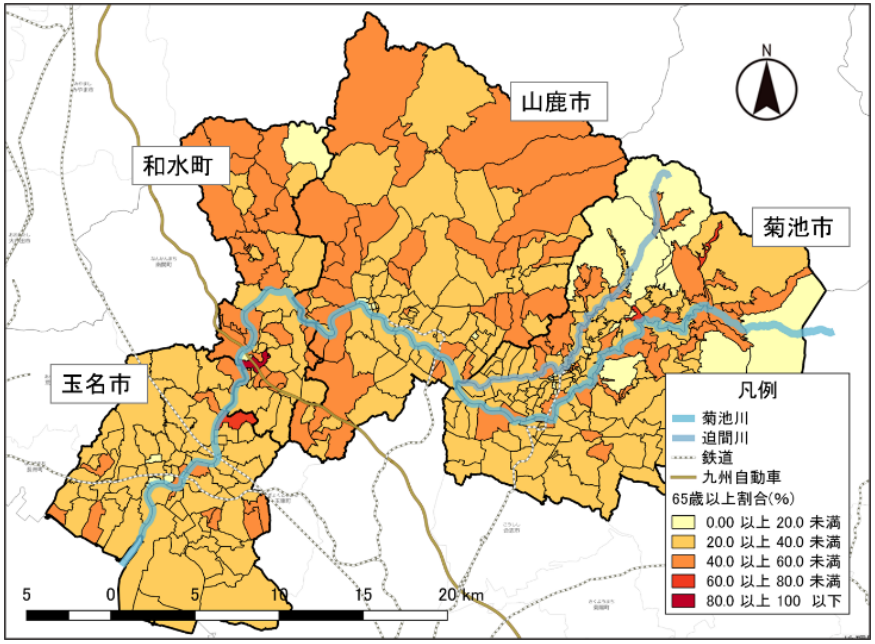


図-3　流域の高齢人口割合

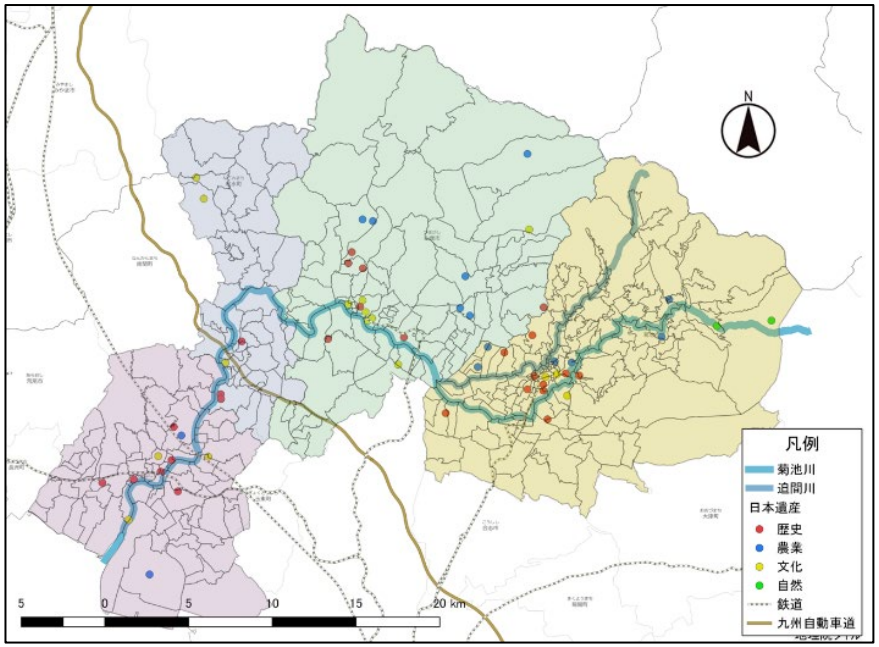


図-4　日本遺産の構成文化財

写真-1 高瀬船着場

写真-2 旧玉名干拓施設

写真-3 肥後神楽

写真-4　菊池川

	検索結果			種類				
年代	ヒット件数	まちづくり活動	河川に関連	自然環境	歴史	農業	観光	その他
1988	0	0	0					
1989	0	0	0					
1990	2	0	0					
1991	3	0	0					
1992	1	1	0	1				
1993	3	1	0				1	
1994	5	1	0					
1995	6	1	0		1			
1996	10	4	0		2			2
1997	20	7	0		1		2	4
1998	13	5	0					5
1999	11	6	0	1				5
2000	16	2	0					2
2001	20	5	0					5
2002	27	8	1	2	1			5
2003	19	4	0		1			3
2004	30	10	2	3	2		1	4
2005	23	4	0	1				3
2006	20	4	0		1	1		2
2007	11	4	0	1				3
2008	25	11	0	2	3		1	5
2009	29	9	0		3	1		5
2010	19	3	0		1			2
2011	30	9	0		3		1	5
2012	32	7	0	1	3			3
2013	28	7	0		2			5
2014	30	4	1	1				4
2015	16	2	0					2
2016	17	3	0					3
2017	19	4	0			1		3
2018	16	4	2	1	2			1
計	501	130	6	14	26	3	6	81

表-1
菊池市におけるかわまちづくりの分類

菊池市かわまちづくり計画が登録されるまで（平成30年度）

想いの共有

7月7日

かわまちづくりキックオフ

8月9日

第１回かわまちづくり会議

コンセプト
・基本方針案確認

9月20日

第２回かわまちづくり会議

整備内容案確認・水辺利用社会実験

10月1日

第１回かわまちづくり計画検討協議会

コンセプト・
基本方針案承認

10月25日

第３回かわまちづくり会議

事例から学ぶ
shirakawabanks

2018年

11月20日

第４回かわまちづくり会議

12月20日

第２回かわまちづくり計画検討協議会

菊池市かわまちづくり計画承認

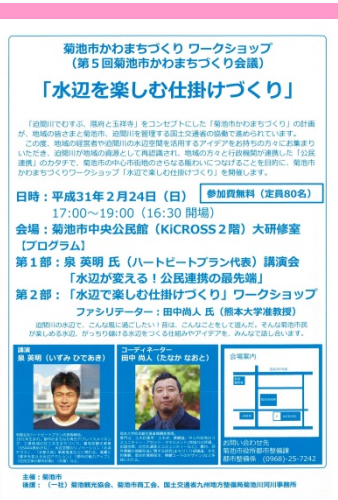
2月24日

第5回かわまちづくり会議

2019年

菊池市かわまちづくり計画

3月8日登録



かつての迫間川（川開き神事）

菊池市の水辺に対する地域住民の認識に関する研究

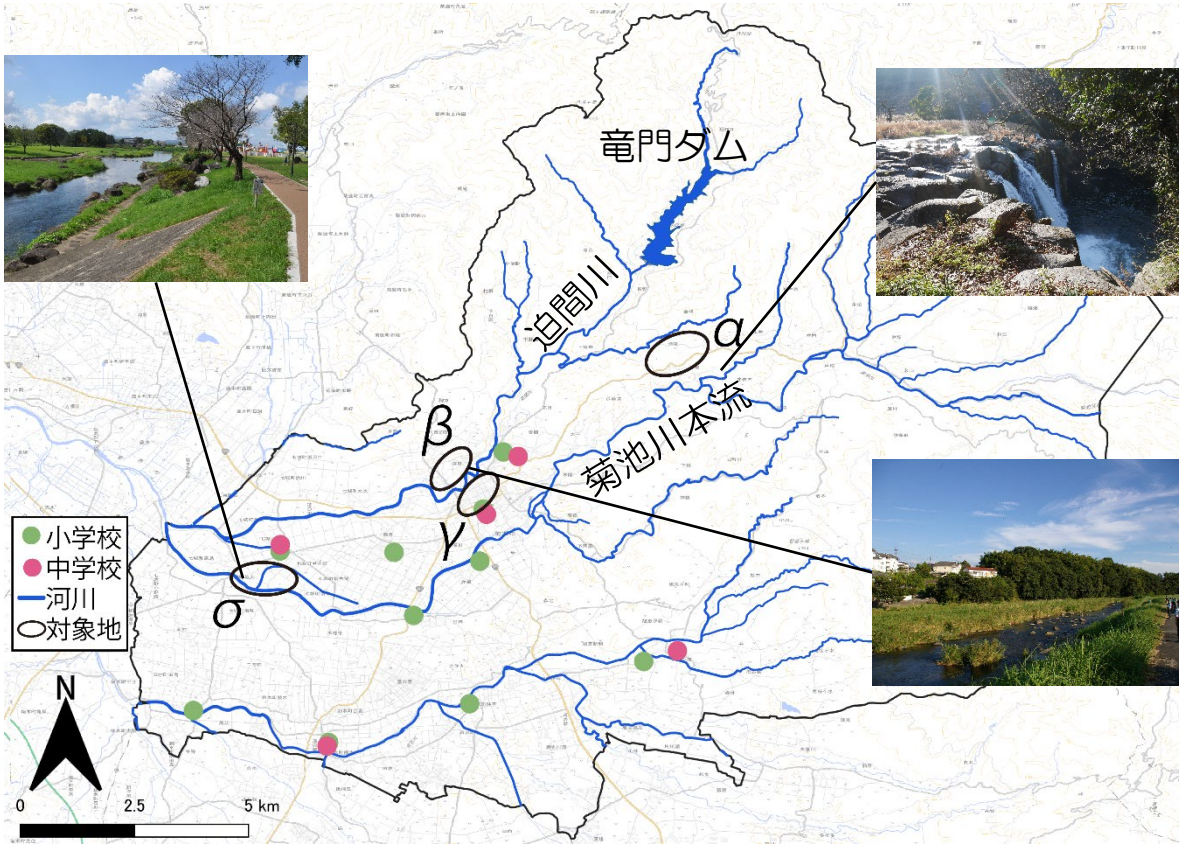
■菊池川流域の歴史

西暦(年)	和暦(年)	菊池川流域における出来事
1941	昭和16	菊池川流域洪水(梅雨性)
1946	昭和21	菊池川流域洪水(梅雨性)
1949	昭和24	菊池川流域洪水(台風)
1953	昭和28	菊池川流域洪水(梅雨性，六・二六大水害)
1954	昭和29	菊池川流域洪水(梅雨性)
1955	昭和30	
1956	昭和31	
1962	昭和37	菊池川流域洪水(梅雨性)
1963	昭和38	菊池川流域洪水(台風)
1964	昭和39	竜門ダム予備調査開始「建設省菊池川河川事務所」
1965	昭和40	菊池川流域大洪水(梅雨性)
1968	昭和43	
1969	昭和44	菊池川流域洪水(梅雨性)
1970	昭和45	
1971	昭和46	菊池川流域大雨洪水
1973	昭和48	菊池川流域大雨洪水
1974	昭和49	菊池川上流大雨洪水
1978	昭和53	
1979	昭和54	菊池川流域大雨降水
1980	昭和55	菊池川流域洪水(7月梅雨性)(8月台風)
1982	昭和57	菊池川流域洪水(梅雨性)甚大な被害
1987	昭和62	竜門ダム本体工事着工
1989	平成元年	菊池川流域洪水(寒冷前線)
1990	平成2年	菊池川流域洪水(梅雨性)甚大な被害/竜門ダム定礎式
1993	平成5年	菊池川流域洪水(梅雨性)
1997	平成9年	菊池川流域洪水(梅雨性)
1999	平成11年	菊池川流域洪水(低気圧)
2002	平成14年	竜門ダム建設完了
2005	平成17年	
2006	平成18年	菊池川流域洪水(梅雨性)
2009	平成21年	菊池川流域洪水(梅雨性)
2012	平成24年	菊池川流域洪水(梅雨性)
2017	平成29年	菊池川流域が日本遺産に登録

- 流域での洪水多発
- 災害記録は多数既存

日常の記録は少ない

■調査対象地の概要



A. 重味地区（道園，篠倉） —— 菊池川最上流付近
b. 玉祥寺地区（玉祥寺） —— 迫間川上流右岸
c. 隈府地区（上町，中町） —— 迫間川上流左岸
d. 菰入地区（新村，菰入） —— 菊池川中流右岸

菊池市の川遊びに関する分析－４地区における川遊びの変化要因－

■川遊びの変化

4地区とも，[1]1940年代-1960年代，[2]1960年代-1980年代の間に川遊びが変化．

表　4地区における川遊びの変化

	α．重味地区		β．玉祥寺地区		γ．隈府地区		σ．七城町蒜入地区	
	遊び場	遊びの内容	遊び場	遊びの内容	遊び場	遊びの内容	遊び場	遊びの内容
1940年代頃	2km程離れた菊池川が遊び場	・生活の為に魚をとる ・植物でニナを食す ・種類：9	玉祥寺橋を中心とした範囲が遊び場	・体を使った遊びが多い ・種類：9	地区内で遊ぶエリアが分けられていた	・体を使った遊びが多い ・種類：5	・集落近くの川が遊び場 ・小川を挟んで遊ぶ	種類：8
変化したこと	変化なし	目的，方法の変化	変化なし	種類の変化	変化なし	種類の変化	大きな変化なし	大きな変化なし
1960年代頃	2km程離れた菊池川が遊び場	・つまようじでニナを食す ・種類：10	玉祥寺橋を中心とした範囲が遊び場	・道具を用いた遊び出現（いかだ，どろ団子） ・種類：9	地区内で遊ぶエリアが分けられていた	・道具を用いた遊び出現（タイヤ，どろ団子） ・種類：6	集落近くの川が遊び場	種類：6
変化したこと	メインの遊び場の変化	種類の減少	メインの遊び場の変化	種類の減少	変化なし	種類の減少	遊び場の変化，減少	種類の減少
1980年代頃	・普段は近所の沢や井手が遊び場 ・たまに滝へ遊びに行く	種類：5	玉祥寺橋よりも上流が遊び場	種類：5	地区内で遊ぶエリアが分けられていた	種類：2	水門付近が遊び場	種類：2

■川遊びの変化要因

[1]1940年代-1960年代

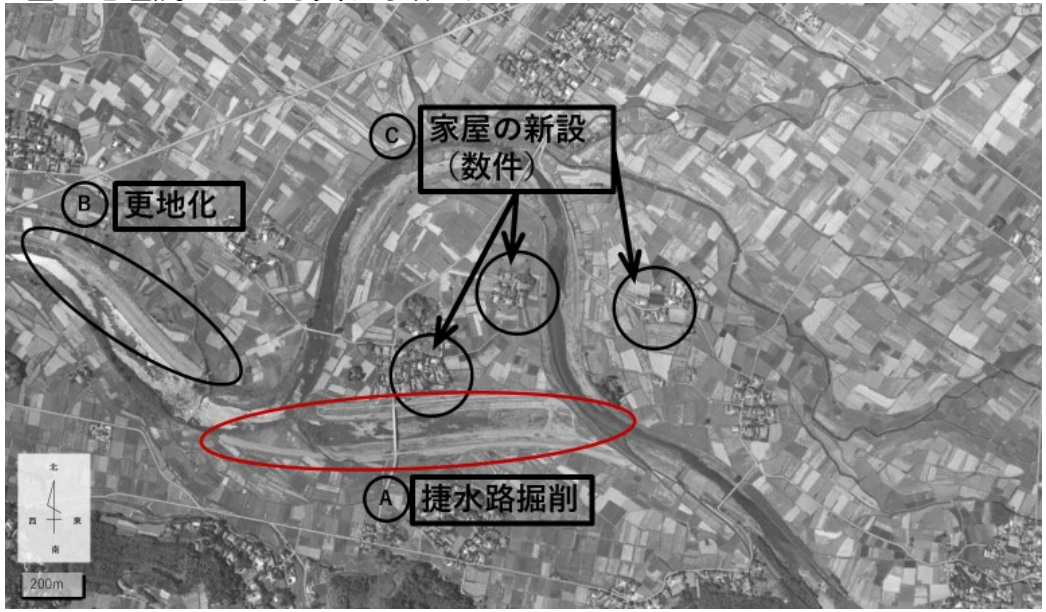
変化　遊びの内容が変化（貝の食べ方，魚とりの目的，道具を用いた遊び出現）
要因　暮らしの変化

[2]1960年代-1980年代

変化　遊び場が変化・減少／遊びの種類が減少
要因　小学校プールの設立
要因　河川改修による河川の変化

菰入地区の変遷

国土地理院の空中写真より作成



空中写真による変遷分析

S23→S37

A：捷水路の掘削が行われる.

B：堤防を築造するための整備が行われる.

C：家屋の新設が数件見られる.

S23

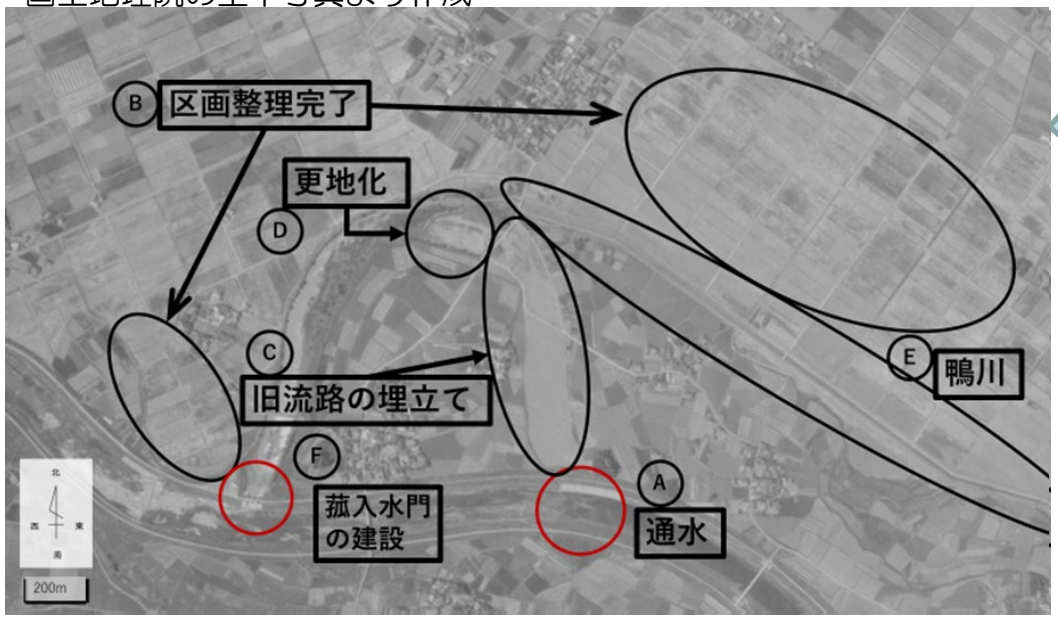
パワーショベルによる掘削作業（S36）

S37

菰入地区の変遷

国土地理院の空中写真より作成

S37



S49

空中写真による変遷分析

S37→S49

A：捷水路通水(S41)

B：区画整理が菰入地区の周辺から行われる

C：旧流路が埋め立てられる

D：整備が行われる（後の鴨川河畔公園）

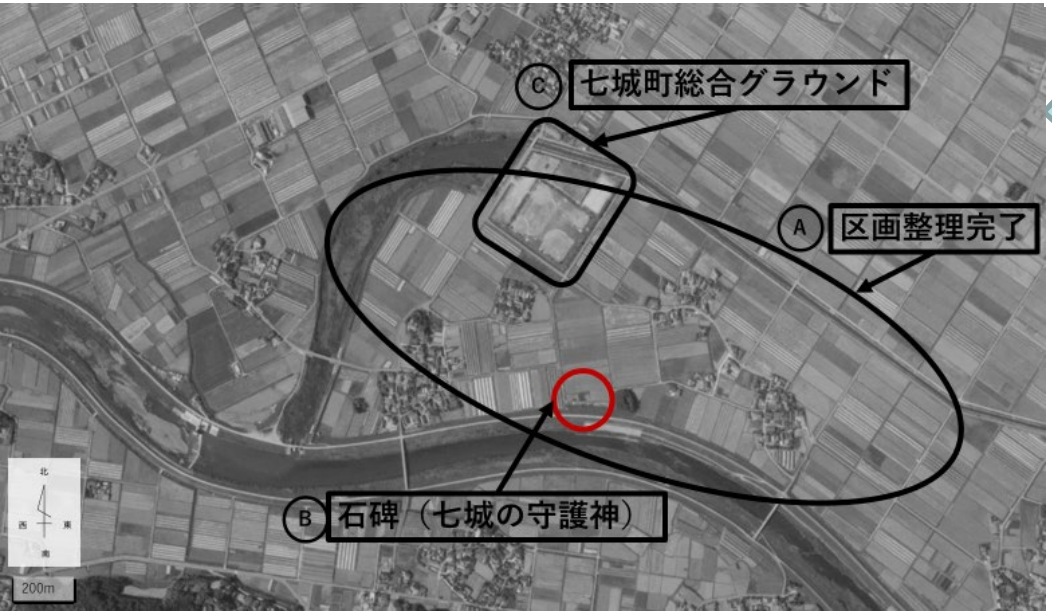
E：鴨川の整備が行われる

F：菰入水門の建設

菰入地区の変遷

S49

国土地理院の空中写真より作成



S57

空中写真による変遷分析

S49→S57

A：菰入・清水地区の
　区画整　理が行われる.

B：旧流路の側に石碑が建つ.
　→「七城町菰入区守護神
　(S53)」

C：七城町総合グラウンドの
　整備が行われる.

守護神

菰入地区の変遷

今の菰入地区

①正光山勝明寺，②観音堂，地蔵菩薩，馬頭観音
③毘沙門天堂，④薬師堂，⑤がらんさん，
⑥菰入菅原神社，⑦宮園八幡宮，宮園菅原神社

H30
国土地理院の空中写真より作成

菰入菅原神社

2019.7.7（日）水辺で乾杯

2019.8.4（土）菊池川キッズ探検隊　11:00　kawadocoにて，川の学習

2019.10.14（月）菊池迫間川秋のかわまち歩き

菊池域学連携（菊池市民，市役所，３高校と６大学が連携したまちづくり活動）

菊高「まちづくり部」説明会

日時：令和２年６月24日（水）16:00~16:45

場所：菊池高等学校 体育館

菊池域学連携に関わる熊本県立大学や熊本大学などの先生や学生，その他市民の方々と一緒に菊池の「まちづくり」を学び，実際にやってみませんか？高校生の間に，いろんな人と出会い，菊池の魅力を知ることは，皆さんの一生の財産になります。

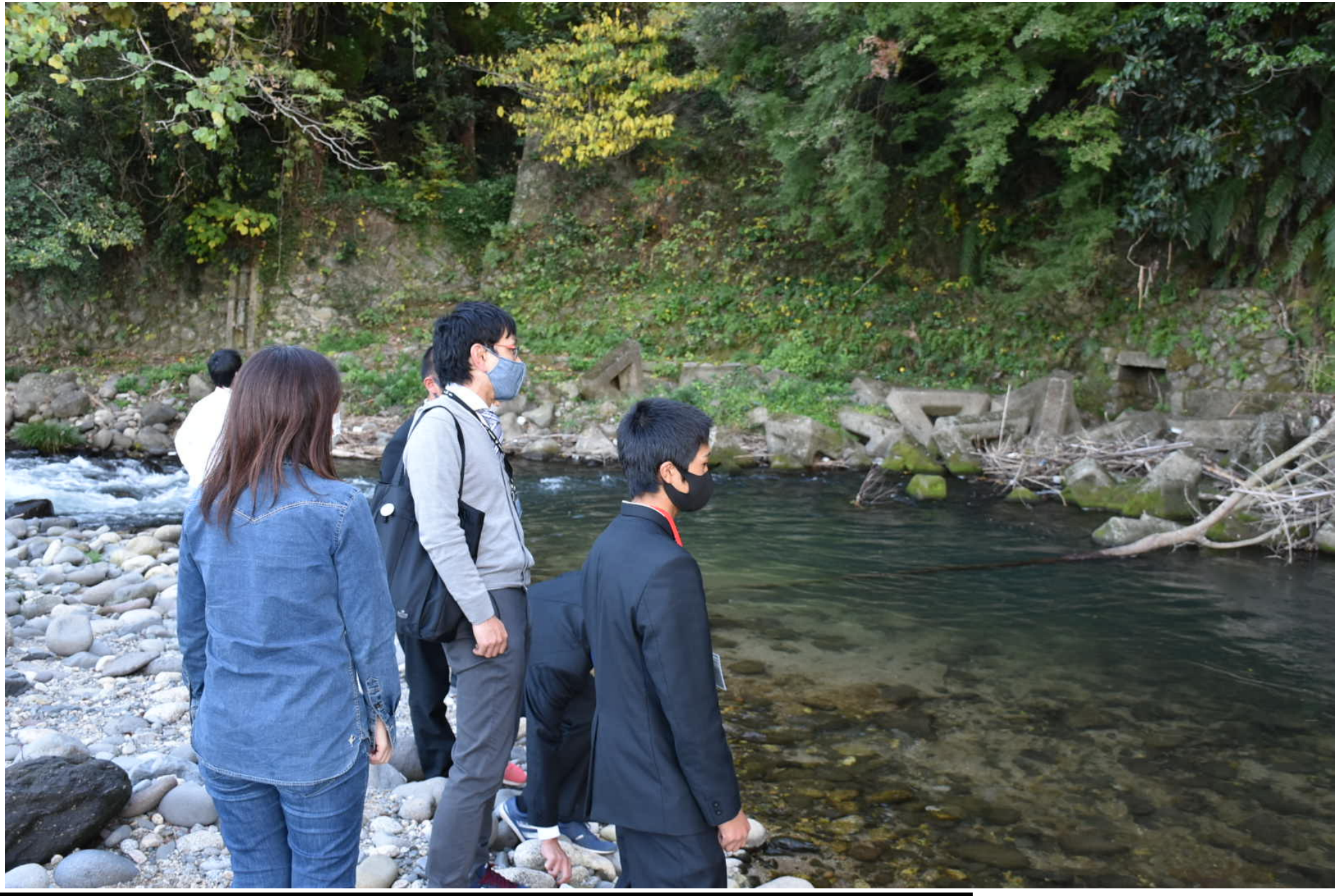
菊池高校まちづくり部　菊池市かわまちづくりワークショップ
（ミズベリング・ハイスクール MIZBERING HIGH SCHOOL）

　令和２年度菊池市かわまちづくり事業では，迫間川の護岸改修などを含む水辺整備の基本設計が行われます．本整備の中で右岸（玉祥寺側），左岸（隈府側）の高水敷に一つずつ広場が提案されます．この広場がどうあるべきか，熊本大学の学生たちと一緒に，地域住民の方々の声を聴きながら，景観デザインを行ってくれる高校生を，10名程度募集します．

日程：

第１回：2020年10月26日（月）
　16:00～17:00「水辺の広場，活動を提案する」
第２回：2020年11月13日（金）
　16:00～17:30「水辺の広場の未来を考える」
第３回：2020年12月 1日（火）
　16:00～17:00「水辺の広場をかたちづくる」

2020.10.30（月）菊高まちづくり部かわまちづくりワークショップ　第１回



2020.11.13（金）菊高まちづくり部かわまちづくりワークショップ（第２回）

2020.12.1（火）菊高まちづくり部かわまちづくりワークショップ（第３回）

左岸利用例（川辺）

左岸利用例（居場所）

右岸利用例（川辺）

右岸利用例（BBQやキャンプ）

2021.2.19（金）菊高まちづくり部かわまちづくりワークショップ（第４回）

（目的）本研究では，熊本県北部を流れる菊池川流域において，多様な研究者が，自治体，地域住民，起業など様々なステークホルダーと協働し，日本遺産に認定された流域の様々な文化財を核として，**安心・安全で魅力的な地域づくりに資するかわまちづくり文化について研究し，実践することを目的としたアクションリサーチ**を推進した．

研究面では，土木史研究，河川環境研究，防災教育のための基礎調査ができた．実践面では，菊池市のかわまちづくり計画の策定・推進を軸に流域において市民参加，公民連携，行政の部局連携など**多様な協働**が見られ，菊池高等学校の生徒らによる次世代への継承可能な**実践哲学の構築**ができた，と考える．

通常の景観まちづくりや文化財保全の活動は基礎自治体の範囲内に留まる．また河川管理は河川区域でのみ行うのが普通である．本研究は，河川管理者と基礎自治体や市民，及び研究者が共同研究に基づくかわまちづくりの実践を行うアクションリサーチであり，「川づくり×まちづくり」のイノベーションを起こすことができた．つまり，**流域レベルの公民連携，市民・自治体・河川管理者の協働のもと研究を推進することができた．**

高齢社会を迎え，少子化，過疎化に悩む地方都市，中山間地では**「にぎわいの創出」**が求められている．また，ポストコロナ社会では，三密を避けた新しい行動様式が求められる．本研究の成果として得られた，土木史研究を基盤として**地域の風土に根ざした**，高校生による次世代の人材育成，公共空間創出ためのかわまちづくり**教育プログラム**は，これらの流域が抱える地域課題を持続可能なカタチで解決する研究成果や将来性が期待できる．